

## 社団法人ニューガラスフォーラム第3回通常総会

社団法人ニューガラスフォーラムの第3回通常総会は、さる5月29日東京芝公園の東京プリンスホテル「ゴールデンカップの間」で開催されました。

総会は、多数の会員のご出席を得、古本会長を議長として進められ、議案はすべて原案通り承認可決されました。

また、総会終了直後に開かれた理事会において、会長・副会長・専務理事が選任され、総会会場で紹介されました。

総会会場の議事をはじめとする当日の行事の概要と、平成元年度事業報告、平成2年度事業計画(案)ならびに役員名簿を以下にご紹介させていただきます。

### 議 事

- 1 開 会
- 2 議事録署名人選出
- 3 議 案
  - 第1号議案 平成元年度事業報告ならびに収支決算報告の件
  - 第2号議案 平成元年度剰余金処分(案)の件
  - 第3号議案 平成2年度事業計画ならびに収支予算(案)の件
  - 第4号議案 役員選任の件
- 4 閉 会

### 講演会

総会終了後、同所において講演会が開催されました。

講師 米長 邦雄氏(棋士九段・永世棋聖・王将)

演題 人生に活かす勝負の心

### 懇親会

講演会に続いて、会場を「末広の間」に移して、懇親会が開催されました。

懇親会では、古本前会長、中島会長の挨拶に続いて、通商産業省生活産業局南学局長、大阪府立大学南教授からご祝辞をいただき、鈴木副会長の発声で乾杯のあと、大勢の来賓、会員の方々がなごやかな懇談のひとつきを過ごしました。



# 平成元年度事業報告書

平成元年4月1日より 平成2年3月31日まで

## 1. 事業の概要

### 1. ニューガラスに関する産業及び技術開発動向等の情報の収集及び提供

(定款 第4条第1項第1号関係)

#### 機関誌“NEW GLASS”の発行

ニューガラスに関する国内外の新製品・新技術の紹介、内外のニュース、関連産業の動向、技術解説等の内容とした機関誌“NEW GLASS”を4回刊行し、会員等へ配付した。

### 2. ニューガラスの産業及び技術開発等に関する調査研究

(定款 第4条第1項第2号関係)

#### (1) 我が国産業構造の高度化に及ぼすニューガラスの波及効果に関する調査研究

通商産業省から、「平成元年度無機新素材産業対策（ニューガラス産業対策）調査研究」の委託を受けて、ニューガラスが我が国産業構造の高度化に及ぼす波及効果に関し、とくに自動車、モーターボートをモデルとして調査を実施し、その結果を報告書にまとめて提出した。

#### (2) ゾル・ゲル法ニューガラスに関する調査研究

アルコール協会から、アルコールの高付加価値的利用に関連した金属エトキシドの製造および利用技術に関して「ニューガラスの製造及び利用技術に関する調査研究」の委託を受け、金属エトキシドを出発原料とするゾル・ゲル法によるケイ酸塩系ニューガラスについての調査研究を行い、その結果を報告書にまとめて提出した。

#### (3) ニューガラスデータブックの作成

日本自転車振興会の助成を受けて、特許、論文等を情報源として、ニューガラスの研究開発に役立つ情報を収集し、これを基にデータブックを作成し、会員等の閲覧に供する体制を作った。

#### (4) ニューガラス調査報告書の発行

最近の文献等から、いくつかの分野のニューガラスの動向を、製品の概要、内外の技術開発動向、材料開発の問題点、競合材料の動向等の観点からとりまとめを行い、「ニューガラス調査報告書(第3報)」として発行した。



### 3. ニューガラスに関する講習会、講演会及び研究会等の開催（定款 第4条第1項第3号関係）

#### (1) 研究会の開催

ニューガラスに関するニーズとシーズの出会いの場と討論に主眼を置き、個別テーマによる研究会を開催した。今年度は下記の四つの研究会をそれぞれ数回ずつ開催した。

加工研究会

非線形光学材料研究会

ガラス材料設計研究会

コンポジットガラス研究会

#### (2) セミナーの開催

研究者、技術者等を対象に、ニューガラスに関する最新の技術開発動向等を紹介するセミナーを4回開催した。

平成元年 8月 テーマ「ゾルーゲル法による新しい材料の創製とその実用化」

平成元年 10月 テーマ「異業種を支えるニューガラス」

平成元年 12月 テーマ「ニューガラスの形状とその応用」

平成2年 2月 テーマ「光エレクトロニクスニューガラスとデータベース」

#### (3) 講座の開催

##### 1) やさしいニューガラス講座

ニューガラスについて広く理解を得るため、「やさしいニューガラス講座」を3回開催した。

平成元年 5月 テーマ「ニューガラスの製造法」

平成元年 9月 テーマ「非球面光学素子の製造技術」

平成2年 2月 テーマ「カルコゲナイドガラスとイオン伝導ガラス」

##### 2) ニューガラス基礎講座

ニューガラスの開発・利用に携わる技術者を対象に、従来のガラス技術をも含めたニューガラスの基礎と利用技術に関する講座を4日間にわたって開催し好評を得た。

#### (4) 見学会・展示会の実施

##### 1) 見学会

大阪大学レーザー核融合研究センター並びに大阪工業技術試験所の見学会を実施した。

##### 2) 展示会

新材料、新素材に関する展示会等に協賛し、ニューガラスの普及啓発を図った。

### 4. ニューガラスに関する国際交流及び協力

（定款 第4条第1項第4号関係）

#### (1) 国際シンポジウムの開催

日本自転車振興会の助成を得て、ニューガラスの技術動向並びに産業動向について意見交換を行うため、11月に東京において「第2回ニューガラス国際シンポジウム」を開催した。今回は、招待講演のほかにポスターセッションを設けて最新の研究動向等の発表を行い、いずれも好評をもって迎えられた。

#### (2) 国際ガラスデータベースの構築

ガラスの組成と物性のデータを世界的規模で収録し、ガラス材料の開発、利用に資するため「国際ガラスデータベース」の構築を開始した。2年計画で約9万件のデータを収録する予定で、本年度は基本的構造を確立するとともに、データ収集に努め、約6割のデータの入力を行った。

5. ニューガラスに関する標準化・規格化の調査研究

(定款 第4条第1項第5号関係)

ニューガラスの評価方法の標準化

工業技術院から委託を受けて、ニューガラスの物性測定方法調査研究の基本計画を策定するとともに、ニューガラスの平坦度測定方法について調査研究を行い、それぞれ報告書を作成して提出した。

6. ニューガラスに関連ある団体、学会及び研究機関との協力

(定款 第4条第1項第6号関係)

(社)日本セラミックス協会、国際ガラス会議、新素材関連団体連絡会その他内外のニューガラスに関連ある団体等の事業を相互に会員に紹介しあう等の方法により、事業の協力、相互の連携を図った。

## II. 庶務の概要

### 1. 理事会

(1) 第10回理事会

平成元年6月1日開催し、下記事項につき審議・決定した。

- 1) 第2回通常総会提案議題審議の件
- 2) 特別会員委嘱の件
- 3) 新入会員承認の件

(2) 第11回理事会

平成元年10月20日開催し、下記事項につき審議・決定した。

- 1) 平成2年度事業に関して日本自転車振興会へ補助金要望書提出に係わる件
- 2) 新入会員承認の件

(3) 第12回理事会

平成2年1月23日開催し、下記事項につき審議・決定した。

- 1) 委員会設置の件
- 2) 新入会員承認の件
- 3) 平成元年度主要事業経過報告の件

(4) 第13回理事会

平成2年3月27日開催し、下記事項につき審議・決定した。

- 1) 平成2年度事業計画・同収支予算(案)審議の件
- 2) 新入会員承認の件

### 2. 事務局

(1) 事務所

引き続き下記に事務所を置いて、業務を行っている。

東京都港区新橋3丁目1番9号(日本ガラス工業センタービル 3階)

(2) 職員

事務局は、平成元年度末現在で、常勤役員1名、会員会社からの出向者5名、女子職員1名、臨時雇用1名、合計8名をもって構成している。

## 平成 2 年度事業計画(案)

平成 2 年 4 月 1 日より 平成 3 年 3 月 31 日まで

### 1. ニューガラスに関する産業及び技術開発動向等の情報の収集及び提供

(定款 第 4 条第 1 項第 1 号関係)

#### (1) 機関誌“NEW GLASS”の発行

ニューガラスに関する国内外の新製品・新技術の紹介、内外のニュース、関連産業の動向、技術解説等を内容とした機関誌“NEW GLASS”を 4 回発行し、会員等へ提供する。

#### (2) 普及啓発用資料の作成

本会の設立目的、事業等についての理解を得るとともに、ニューガラスの普及啓発を図るために、和文及び英文のパンフレットを作成する。

### 2. ニューガラスの産業及び技術開発等に関する調査研究

(定款 第 4 条第 1 項第 2 号関係)

以下の調査研究を行うことにより、ニューガラス産業の振興策を展開するための基礎資料とする。

#### (1) 我が国産業構造の高度化に及ぼすニューガラスの波及効果に関する調査研究

産業の裾野が広く、ニューガラスの応用の可能性が大きいと推定される分野のうち、本年度は建設の分野についてインテリジェントビルをモデルとして調査し、ニューガラス産業の将来像をイメージし、ニューガラス産業基盤の確立に役立てる。

(通商産業省からの受託を予定。)

#### (2) ゾル・ゲル法ニューガラスに関する調査研究

ニューガラスの代表的製造技術となると思われるゾル・ゲル法ガラス製造技術に関して、使用原料の観点を主体とした調査研究を行う。

(アルコール協会からの受託を予定。)

#### (3) ニューガラスデータブックの作成

前年度にひきつづき、特許、論文等を情報源として、ニューガラスの研究開発に役立つ情報を収集し、特定分野のデータを使い易い形にとりまとめ、会員等へサービスする。

(日本自転車振興会からの補助金を予定。)

### 3. ニューガラスに関する講習会、講演会及び研究会等の開催

(定款 第 4 条第 1 項第 3 号関係)

#### (1) 研究会の開催

ニューガラスに関するシーズとニーズの出会いの場を目指し、個別テーマによる研究会を開催する。昨年度に引き続き加工、非線形光学材料、ガラス材料設計、コンポジットガラスの 4 研究会を開催する。

#### (2) セミナーの開催

研究者、技術者等を対象に、ニューガラスに関する最新の技術開発動向等を紹介するセミナーを開催する。

(3) 講座の開催

前年度に引き続き「やさしいニューガラス講座」を開催し、ニューガラスのトピックスをやさしく解説する。また、研究者、技術者育成のための「ニューガラス基礎講座」を開催する。

(4) 展示会の開催

「現代ガラスの博物館」にニューガラスの展示を行う等、ニューガラス産業の普及啓発を図る。

(5) 見学会の開催

会員のニューガラスの知識向上を図るため、先端研究機関等を訪問する見学会を行う。

**4. ニューガラスに関する国際交流及び協力**

(定款 第4条第1項第4号関係)

(1) 国際ニューガラス合同研究会の開催

ニューガラスの最新の研究事情や技術動向について情報の交流を図り、併せて研究会活動の成果を広く公表することを目的として、国際ニューガラス合同研究会を開催する。

(日本自転車振興会からの補助金を予定。)

(2) 国際ガラスデータベースの構築

昨年度に引き続き、ガラスの組成と物性のデータを世界的規模で収録するデータベースを構築し、ガラス材料の開発、利用に資する。

**5. ニューガラスに関する標準化・規格化の調査研究**

(定款 第4条第1項第5号関係)

ニューガラスの評価方法の標準化

ニューガラスの評価方法として標準化のニーズが高い基板ガラスの平坦性と表面欠陥の測定方法について調査研究を行う。

(通商産業省からの受託を予定。)

**6. ニューガラスに関連ある団体、学会及び研究機関との協力**

(定款 第4条第1項第6号関係)

(社)日本セラミックス協会、国際ガラス会議、新素材関連団体連絡会その他内外のニューガラスに関連ある団体、学会及び研究機関の事業に協力し、相互の連携を図る。

## 役員名簿

理事(会長)	中島 達二	日本板硝子(株) 取締役社長
” (副会長)	長崎 準一	日本電気硝子(株) 取締役相談役
” ( ” )	鈴木 哲夫	HOYA (株) 取締役社長
” ( ” )	古本 次郎	旭硝子(株) 取締役社長
” (専務理事)	森川 武	(株)ニューガラスフォーラム
”	石塚 芳三	石塚硝子(株) 取締役社長
”	佐々木 信次	佐々木硝子(株) 取締役相談役
”	中原 恒雄	住友電気工業(株) 取締役副社長
”	五十嵐 才吉	セントラル硝子(株) 常務取締役
”	日吉 淳一	東芝セラミックス(株)相談役
”	松原 明	日東紡績(株) 特別顧問
”	小川 晋永	(株)日本硝子製品工業会 専務理事
”	市村 健夫	(株)ニコン 顧問
”	田中 重信	藤倉電線(株) 専務取締役
”	宇都宮 綱之	古河電気工業(株) 専務取締役
”	新田 恒治	松下電器産業(株) 理事中央研究所長
”	小野 博之	山村硝子(株) 常務取締役
監事	岡本 勲	岡本硝子(株) 取締役社長
”	高砂 常義	日立工機(株) 常務取締役



古本前会長



中島会長



南学局長



南教授